

試合番号 : 475	試合会場 : 西尾市総合体育館	観客数 : 1,213
開始時間 : 12:00	終了時間 : 14:08	試合時間 : 02:08
主審 : 内藤 聡美	副審 : 木内 誠二	
デンソーエアリービーズ 通算 4勝 0敗 ポイント : 11	23 第1セット 25 25 第2セット 20 25 第3セット 22 22 第4セット 25 15 第5セット 8	日立Astemoリヴァーレ 通算 4勝 1敗 ポイント : 13
監督コメント 第1セットは、なかなか自分達のオフェンスが機能せず、リズムが掴めない状況で、相手チームのミドルを中心とした攻撃に苦しめられました。第2セット、第3セットは、ミドルを続ける中でブレイクを取れる機会を多く出したことでセットを取ることができました。後半も途中出場選手が流れを引き寄せ、プレーを見せてくれて、チーム一丸となって勝利することができました。明日は今シーズン最後のホームゲームになりますが、ファンの皆様と一緒に戦って勝利を勝ち取りたいです。	3	2 監督コメント ゲームを通してなかなかサーブで崩すことができなかったこと、また、デンソーのショートサーブでこちらがトラブルを起こしたところで苦労しました。しかし選手達は解決策を見出すために常にコミュニケーションを取り、最後まで立ち向かってくれたと思います。ファイナルへ進むことができたのも、日々成長するために努力を続ける選手と、サポートを惜しまないスタッフ、そして何よりこのチームを後押ししてくださるファン、サポーターの皆様のおかげです。残り2試合、今日よりもさらに成長できるように、またトレーニングを頑張ります。ファイナルの応援ぜひよろしくお願いいたします。
要約レポート 第1セット、日立Astemoが7-6からの連続得点で3点リードする。デンソーは石倉らのアタックなどで14-14と追いつく。その後日立Astemoがタツタの連続ブロックに続き、高間のアタックなどで4連続得点して再びリードすると、その勢いのままセットを先取した。第2セットも中盤まで競った展開となる。デンソーが8-10から中元、ロザマリアがアタックを決め4連続得点して流れを引き寄せる。日立Astemoも反撃するが、デンソーがアタックを要所で決め、日立Astemoの追撃を許さずセットを取り返した。第3セット、日立Astemoが長内のブロックなど連続得点でスタート。デンソーは4-5からロザマリアのサービスエースを含む4連続得点で逆転する。日立Astemoは粘るがデンソーが14-13から石倉のブロックなどで3連続得点するとリードを保ってセットを連取した。第4セット、日立Astemoが3連続得点でスタート。デンソーはロザマリアのアタックとブロックの連続得点でさかさ反撃するが、日立Astemoが野中のサービスエースなどで6点のリードをつくり優位に進める。デンソーも徐々に点差を詰めるが日立Astemoが逃げ切りフルセットに持ち込んだ。第5セット、デンソーはロザマリアのアタック、麻野のブロック、山口のサービスエースで5連続得点して一気に勢いに乗る。日立Astemoはリズムの立て直しを図るが、コートチェンジ直後、デンソーはロザマリアがサービスエースし、終盤には山口のサービスエースから連続得点して勝利を掴んだ。		

試合番号 : 476	試合会場 : 西尾市総合体育館	観客数 : 1,213
開始時間 : 15:10	終了時間 : 16:28	試合時間 : 01:18
主審 : 正岡 卓	副審 : 沢田 元	
PFUブルーキャッツ 通算 2勝 2敗 ポイント : 5	25 第1セット 21 25 第2セット 17 25 第3セット 21 第4セット 第5セット	KUROBEアクアフェアリーズ 通算 1勝 4敗 ポイント : 3
監督コメント 1週空いてゲーム感がなかったことが不安だったが、第1、2セット、良い動きができたと思う。また自分達が準備してきたことが発揮できたと思う。第3セットはこちらの集りから失点を重ねてしまいましたが、チーム全体としては落ち着きを取り戻し、勝利することができた。明日はV Cup最終戦。「総力結集 全員活躍」で頑張りたい。本日もたくさんの応援ありがとうございます。またパブリックビューイングで画面越しに応援してくださった皆様もありがとうございます。	3	0 監督コメント V Cup最終戦となり、有秋の美を飾りたいところでした。しかし、ブルーキャッツの強烈なサーブ、スピードのある攻撃に最後まで対応できず、0-3の敗戦となりました。10月からスタートしたV LEAGUE、V Cupは終了しますが、次の戦いに向け、自分達のバレーを追求したいと思います。今後とも変わらぬご声援をよろしくお願いいたします。
要約レポート V Cup予選ラウンド、互いに白星1ずつというPFUブルーキャッツとKUROBEアクアフェアリーズの“北陸”対決は、ストレートでPFUが勝利を取めた。第1セットは、序盤から互いに3連続得点を奪い合い、10-10と互角のスタートを切った。しかし、PFUがここから山下のサービスエースや川崎の連続スパイクなどによる5連続ブレイクで抜け出した。終盤にかけてPFUはサーブで相手を前後に揺さぶりラリーを優位に進めると、細沼のアタックやブロックが次々に決まり、相手の追従を許さずセットを先取した。第2セットは、PFUが相手のミスや絡みの攻撃などで序盤に5連続ブレイクを奪い、7-1とスタートダッシュを決めた。その後はサーブで相手を崩して相手の攻撃パターンを限定させることに成功し、逆に自分たちのバレーを展開させた。中盤から終盤にかけて三度の3連続得点を奪ったPFUは、セーフティリードのままセット連取を決めた。第3セットは、流れがガラッと変わり、序盤に相手に連続得点を決められたPFUが追う展開となった。最大点差はテクニカルタイムアウト時の5-12で、PFUはそこまで二度のタイムアウトを使い切る背水の陣の状態だった。しかし諦めずに追いかけてと、途中交代で入った川添と川崎が活躍を見せ、徐々に点差が縮んでいく。その後、志摩がレフトから3本攻撃を決めて18-18に追いつくと、さらにスパイクで2点、サーブで1点奪い、流れは完全にPFUへと移り変わった。志摩はこのセットだけで9得点と、逆転勝利の立役者となった。		

試合番号 : 477	試合会場 : 四日市市総合体育館	観客数 : 682
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:27	試合時間 : 01:27
主審 : 城 智人	副審 : 栗崎 慎太郎	
トヨタ車体クインシーズ 通算 2勝 2敗 ポイント : 6	23 第1セット 25 20 第2セット 25 14 第3セット 25 第4セット 第5セット	JTマーヴェラス 通算 4勝 1敗 ポイント : 11
監督コメント VcupファイナルをかけたJTとのゲーム0-3で敗れ、ファイナルを逃し、非常に悔しいです。ゲーム展開としてお互いサーブを攻め合い、状況を作るのが難しい内容であったが、レセプションのミスやJTはサイドにしっかりと集め、緩急をつけられてディフェンスを崩され、立て直しを図れなかったのがJTの方だと感じました。残りVcup1戦、自分たちの持ち味を出し、全力で戦いたいです。明日も応援よろしくお願いいたします。	0	3 監督コメント 本日もたくさんの応援ありがとうございます。勝たないといけないプレッシャーや相手のホームゲームという雰囲気の中でゲームでしたが、選手たちはアップの段階から集中して準備をし、最後まで全員が一つになって戦ってくれました。自分たちの力でファイナルラウンドへの挑戦権を取り切れたことを嬉しく思います。自分たちが目標とするものをつかみ取るためにも、全員が団結して最高の準備をしていきたいと思ひます。引き続き熱い応援よろしくお願いいたします。
要約レポート 第1セット、中盤からJTマーヴェラスが宮部、西川のアタックでリードする。トヨタ車体クインシーズは笠井、ハツヤのアタック、長野のサービスエースで追い上げ一度は逆転に成功する。しかし、終盤、宮部のアタック、高橋のサービスエースで再度逆転に成功したJTがセットを先取した。第2セット、勢いに乗ったJTは小山のアタック、高橋のサービスエースで序盤から先行する。トヨタ車体は鍋谷のアタック、ハツヤのブロックで追い上げる。中盤以降も宮部のアタック、高橋のブロックでリードを守ったJTがセットを連取した。第3セットも宮部のブロック、高橋のアタックでJTが先行する。トヨタ車体は笠井、ハツヤのアタックで追い上げるが、JTの勢いを止めることができず、西川のアタックで点差を広げたJTが12-6リードしてテクニカルタイムアウトを迎える。中盤、トヨタ車体は笠井のアタック、長野のブロックで点差を詰めるが、宮部に代わって入った塩出のサービスエースや西川のアタックでJTはリードを守る。小山、高橋のアタックなど最後まで攻撃の手を緩めなかったJTがこのセットも取りストレートでこの試合に勝利し、Vcup ファイナルラウンド進出を決めた。		

試合番号 : 478	試合会場 : 山陽ふれあい公園総合体育館	観客数 : 1,205
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:18	試合時間 : 01:18
主審 : 本間 明	副審 : 富田 博一	
岡山シーガルズ 通算 5勝 0敗 ポイント : 15	25 第1セット 21 25 第2セット 13 25 第3セット 19 第4セット 第5セット	久光スプリングス 通算 2勝 6敗 ポイント : 3
監督コメント 練習拠点である山陽で、今シーズン最後のホームゲーム、ファイナルステージへの出場が決まっている中で、空回りが懸念されたが、大きく崩れることなく勝利できたことは非常に嬉しく安定している。この勢いで皆様の思いを背に受け、ファイナルラウンドで更に飛躍していきたい。引き続き温かいご声援の程、よろしくお願いいたします。本日は大変多くの方からの熱い熱い応援ありがとうございます。	3	0 監督コメント 今日の試合は相手のレセプションアタックで決められることが多かったサーブで崩した場面でも、もう少し相手の攻撃を抑えたかった。我慢する場面での自分たちからのミスもあり、ゲームの主導権を握ることができなかったことが原因の一つだと感じる。V Cupもたくさんの応援ありがとうございます。今シーズンのリーグ戦はここで終わりとなりますが、来シーズンの新リーグで、強くなった久光スプリングスをお見せできるようにしっかり準備していきます。引き続き応援よろしくお願いいたします。
要約レポート 4連勝で最後のホームゲームを迎える岡山シーガルズと先週に続き連勝を目指す久光スプリングスの一戦。第1セット、岡山は佐伯、山城、金田、久光は吉武、中川、北窓を中心に攻め、互いに点を取り合う。中盤まで互いに譲らず一進一退の攻防が続くが、岡山は甲斐、佐伯のスパイク、長瀬のブロックで連続ポイントを奪い逆転する。勢いに乗った岡山は長瀬のサービスエースや金田のスパイクでポイントを重ね、最後は佐伯の強打でセットを先取する。第2セット、岡山は山城、川島、金田とアタッカー陣が躍動しリードする。久光も吉武スパイクや、サービスエースで応戦するが、岡山は佐伯がスパイクやサービスエースでポイントを奪い、久光を25-13で突き放しセットを連取した。第3セット、岡山は佐伯、山城、金田、久光は吉武、中島がポイントを奪い、互角の展開。中盤岡山は川島のブロックや佐伯のサービスエースで抜け出す。久光も吉武やカムランマークの攻撃で反撃を試みるが、岡山は持ち前の粘りを発揮し、地元の応援を背に粘る久光を突き放しセットを奪い、ストレートで勝利した。		